

経営比較分析表（平成30年度決算）

北海道 上富良野町 上富良野町立病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
当然財務	病院事業	一般病院	50床未満	非設置
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	5	-	ド訓	救
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	看護配置	
10,789	3,708	第2種該当	10:1	

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 方…ガン（放射線）診療

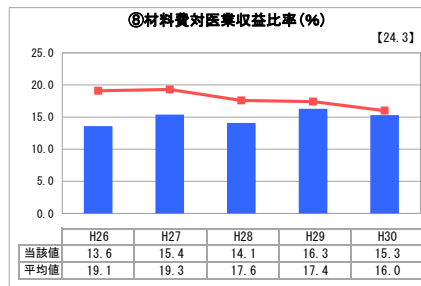
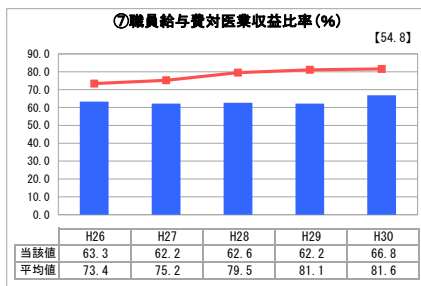
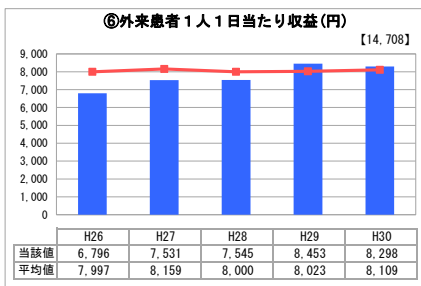
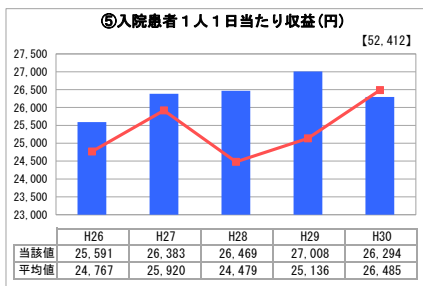
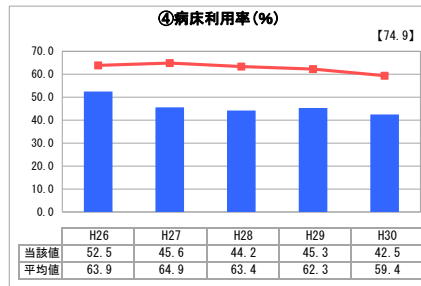
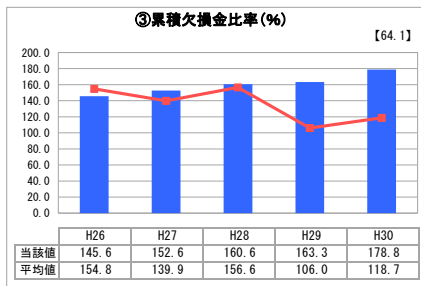
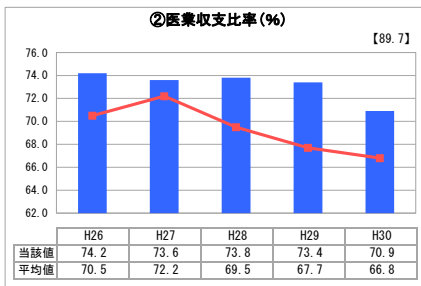
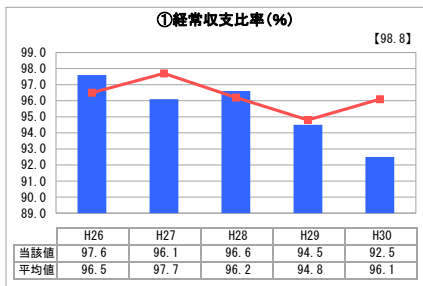
※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
44	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	44
稼働病床（一般）	稼働病床（療養）	稼働病床（一般+療養）
44	-	44

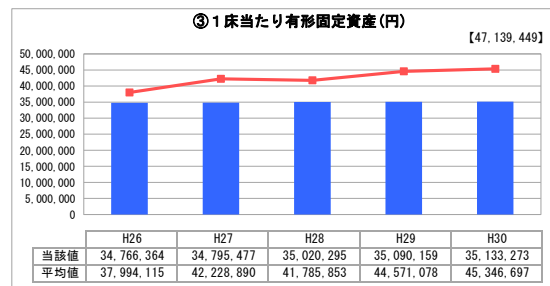
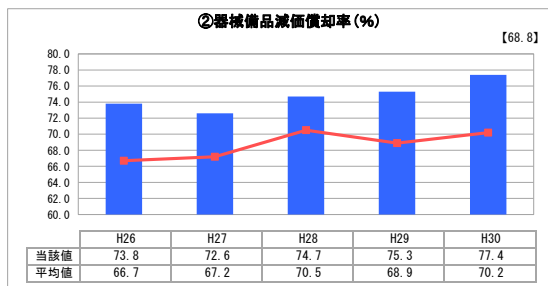
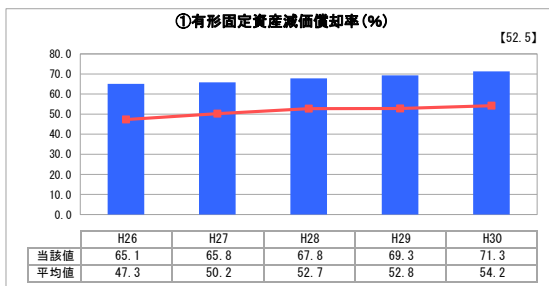
グラフ凡例

- 当該病院値（当該値）
- 類似病院平均値（平均値）
- 【】 平成30年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



公立病院改革に係る主な取組（直近の実施時期）

再編・ネットワーク化	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
- 年度	- 年度	- 年度

I 地域において担っている役割

当町立病院は、町内の唯一の有床病院として、入院、外来、救急医療を担っております。また、公衆衛生活動として、特別養護老人ホーム診療、予防接種、特定健診の実施、あわせて介護療養型老人保健施設を併設しており、地域医療の核となる医療機関として、また、富良野広域医療圏の救急指定病院2病院の一つとして、慢性疾患から救急に至るまで、2次、3次医療圏のゲートキーパーとして、圏域において大きな役割を担っています。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

経常収支比率、医業収益比率、累積欠損比率等については、年々数値が悪化してきており、平成25年度より赤字決算が続いている状態です。特に病床利用率が42.5%と類似病院と比較しても17ポイント近く低いのが大きな要因となっております。

また、効率性については、入院患者1人1日当たりの収益は前年度より低く平均値よりも下回っています。医業収益に対する職員給与費の比率が前年度より5ポイント高くなっています。

2. 老朽化の状況について

築40年を経過して施設全体が老朽化している状況にあり、有形固定資産減価却率は平均値と比較すると約17ポイント上回っています。一方医療器械備品については、計画的に更新を行っておりほぼ横ばいで推移しており、平均値を若干上回っている状況です。

全体総括

経営状況はここ数年赤字決算が続いている状況であり、改善のために新町立病院改革プランに沿って様々な取組が必要となってきます。また、地域医療の核としての町立病院の役割を果たすため、現在の医療水準を維持向上することが必要であることから、老朽化に伴う施設改修に合わせて病床数や病床構成等の見直しを図っていく必要があります。

※「類似病院平均値（平均値）」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。